

現場見学研修会

平成23年10月14日から15日にかけて、「現場見学研修会」が福島県福島市の東北中央自動車道栗子トンネル（福島側）工事で開催されました。参加者は66名（33社）でした。財建設業振興基金の内田俊一理事長と枝川眞弓研究部長も参加していただきました。



現場見学研修会に先立ち、野崎会長他は福島県庁を訪問し、遠藤光一土木部次長を表敬訪問し、東日本大震災の復興への協力を申し出ると共に、協会が人材確保策として力を入れている登録トンネル基幹技能者の活用などをお願いしました。



東北中央自動車道 栗子トンネル(福島側)工事	
元 請	発注者:国土交通省東北地方整備局、 施 工:石田土木㈱ 元 請:清水・大豊JV
概 要	総延長が8972m(うち福島側は5146m)、今回工事は2340m
工 期	平成21年8月～平成25年3月
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ① 完成すると東北地方では最も長い道路トンネルとなる。国内でも5番目の長大道路トンネルとなる。 ② 豪雪地帯である福島・山形両県の県境に位置し、坑口部の標高も約400mと高く、厳しい気象条件下での施工である。 ③ 岩質は比較的硬質であるものの、顕著な断層破碎帯が数箇所確認されており、地質の変化部での岩塊の抜け落ちが予想され、土破りが大きい区間では山はねの可能性もある。 ④ 本坑の上り線側に位置する避難坑既施工坑口からは、大量の湧水が流出しており、本坑施工時の大量湧水が懸念される。



意見交換会で野崎会長より「国交省の直轄でこれほど大規模なトンネル工事は少なく、興味があった。見学で気が付いた問題点などを出し合い、それを自社の技術向上に役立ててほしい」との話がありました。

その後、石田土木㈱の佐藤学所長より「工事の特徴としては、覆工コンクリート養生時間を39時間確保することでコンクリートの品質向上を提案しており、また、工程を確保するために2基のセントルを使用している点。3日に2回の打設で月進160メートル確保している。掘削はいろいろ工夫し、順調な進捗となっている。なお、ずり出しは連続ベルトコンベヤーを使用している。」との工事の特徴や使用機械、設備などに関する説明がありました。また、説明後に活発な質疑応答が行われました。